

# Lunch Meeting with GAKUCHO

令和3年2月9日(火)、  
 本荘キャンパスで  
 令和2年度第2回県大キャン  
 スミーティングを開催しました。

今回は学長・副学長とのランチ  
 ミーティングとして開催しました。  
 当日は、学生6名が参加し、ア  
 クションプランコンテストへ参加  
 した感想や大学への要望など、和  
 気あいあいと自由にお話しただ  
 きました。

## アクションプランコンテストに ついて

◎鈴木涼さん…乳頭温泉郷の魅力発信につ  
 いて提案しましたが、問題提起に終始してし  
 まい解決策の提案がほとんどできていませ  
 んでした。次があるのであれば、解決策を織  
 り込みたいと思います。

◎松田さん…アクションプランコンテストで  
 提案したことを実現させるべく、現在もセ  
 キュリティについて学んでいます。CJFに取  
 り組んでいるのですが、難しいパズルを解く  
 楽しさがあります。

◎藤原さん…アクションプランコンテストの  
 奨励金を使って、放送サークル所有の機材を  
 買い替えようと考えています。新しい機材を  
 使用することによって、提案したプランの実  
 現へまた近づけると考えています。

◎鈴木かさん…自分の考えをアウトプット  
 する場として応募しました。読書が好きなた  
 め、読書が好きになれるような場所を提供す  
 るという考えのもと、プランを作成しました。

学長…アクションプランコンテストは、学生  
 の皆さんに課題に対して自分から進んで取り  
 組む、前に進む力を持つてほしいという思い  
 で設立しました。現在は学部3年生を対象と  
 した制度ですので、今2年生の上村さんも来  
 年ぜひ応募してみてください。

◎上村さん…現在、自主研究で「ツールを  
 使ったスマート恒常化について研究していま  
 す。アクションプランコンテストについても、  
 これを活かせるかも含めて前向きに検討して  
 みたいと思います。」



学長・副学長と学生の懇談会

カツサンドや豚大福を食べながら、  
 和やかな雰囲気での懇談会がスタートしました。

▲後列左から松田さん、藤原さん、鈴木(か)さん、鈴木(涼)さん、  
 全さん、上村さん  
 前列左から小林学長、吉澤副学長

「地域活性化において、研究と教育はどのよう  
 な役割を担っていますか？」(全さんより)

◎全さん…母国である中国では、政府が地域の問題点を見  
 つけ、関連する研究者や自治体へ投げかける方式と、自治  
 体側が研究機関等と協力し政府へ提言する方式があります。  
 日本では大学はどのように地域活性化に関わっていくので  
 しょうか。

学長…日本においても、中国とそこまで変わらない形で地  
 域と関わっていますよ。自治体から大学へ働きかけがある  
 という場合もありますし、大学側から地域へ働きかけるこ  
 ともあります。

「由利本荘には「由利本荘ひな街道」という文  
 化がありますが、コロナの影響で存続が危ぶまれ  
 ています。これを存続させる方法について、皆さ  
 んの意見を聞かせてください」(副学長より)

副学長…由利本荘市には、武家や商家に伝えられたひな人  
 形が多く残されています。例年であれば各家々をめぐって  
 のお祭りとなるのですが、今年は規模を縮小し、資料館等  
 での公開のみとなりました。ひな人形を保管している家で  
 も高齢化が進み、今後の開催を危ぶむ声も多いです。この  
 文化を存続させるには、どうしたらいいと思いますか？

◎藤原さん…私の地元では、中高生が観光地のガイドをし  
 ています。地元の勉強にもなり、魅力を知ることでもでき  
 るので、由利本荘でも実施してはいいかがでしょうか。

◎鈴木かさん…ひな祭りの時期だけではなく、一年を通  
 して観光客が集まるよう、ひな人形の展示で開放している  
 家で民泊の営業を始めるのはいいかがでしょうか。

副学長…貴重なご意見をありがとうございます。ひな街道  
 の担当事務局へお話してみますね。



ボウリングサークルで  
 活動しています。  
 スコアは平均200以上！

ソーシャルディスタンス  
 を保つての懇談会と  
 なりました。

今年は雪の量が多くて  
 驚いています…。先週猛吹雪の  
 ときは帰り道が大変でした。



今後も様々なキャンパスミーティングを企画予定です。  
 今回参加できなかった方は、次回、ぜひ参加してください。

